



NO. 112 モエク・カムイ

●モエク・カムイとはアイヌ語で「エゾタヌキ」のことです。 April 2022

ASAHIYAMA ZOO NEWS

あさひやまどうぶつえんニュース



もくじ

ぼくは動物大使 その73
 かわいい顔した名ハンター エゾクロテン.....1.2
 特集 えぞひぐま館徹底解剖!.....3.4
 飼育研究レポート
 ホッキョクグマ繁殖への道①.....5
 動物園のお医者さんのカルテ
 動物の薬あれこれ.....6
 主なできごと
 編集後記:飼育動物数.....7

エゾクロテン

Martes zibellina brachyura

エゾクロテン

Martes zibellina brachyura
食肉目 イタチ科

シベリアなどに生息するクロテンの亜種で、北海道（道央・道東・道北）と千島列島の国後島・択捉島に生息。

明治期までは北海道全域に生息していたが、毛皮目的での乱獲が起こり一時個体数が減少した。現在は狩猟が禁止され数を増やしている。

昼夜を問わず活動し、繁殖期以外は基本的に単独で行動する。木登りが上手で、細い枝も伝って移動する。木から降りるときに頭を下にして降りることができる。警戒心が強く、立ち上がって周囲を見回す。自然にできた穴や樹洞・屋根裏などを巣として利用する。

飼育しているのは旭山動物園と釧路市動物園のみで、旭山動物園では北海道産動物舎とゆっくりロードで3頭を飼育している。

エゾクロテンの分布



ぽくは動物 かわいい顔した名ハンター

体

頭胴長
約35~56cm
体重
約0.7~1.0kg

繁殖

出産時期は4月下旬から5月上旬。交尾期は6月頃だがすぐに妊娠せず、「着床遅延」する。

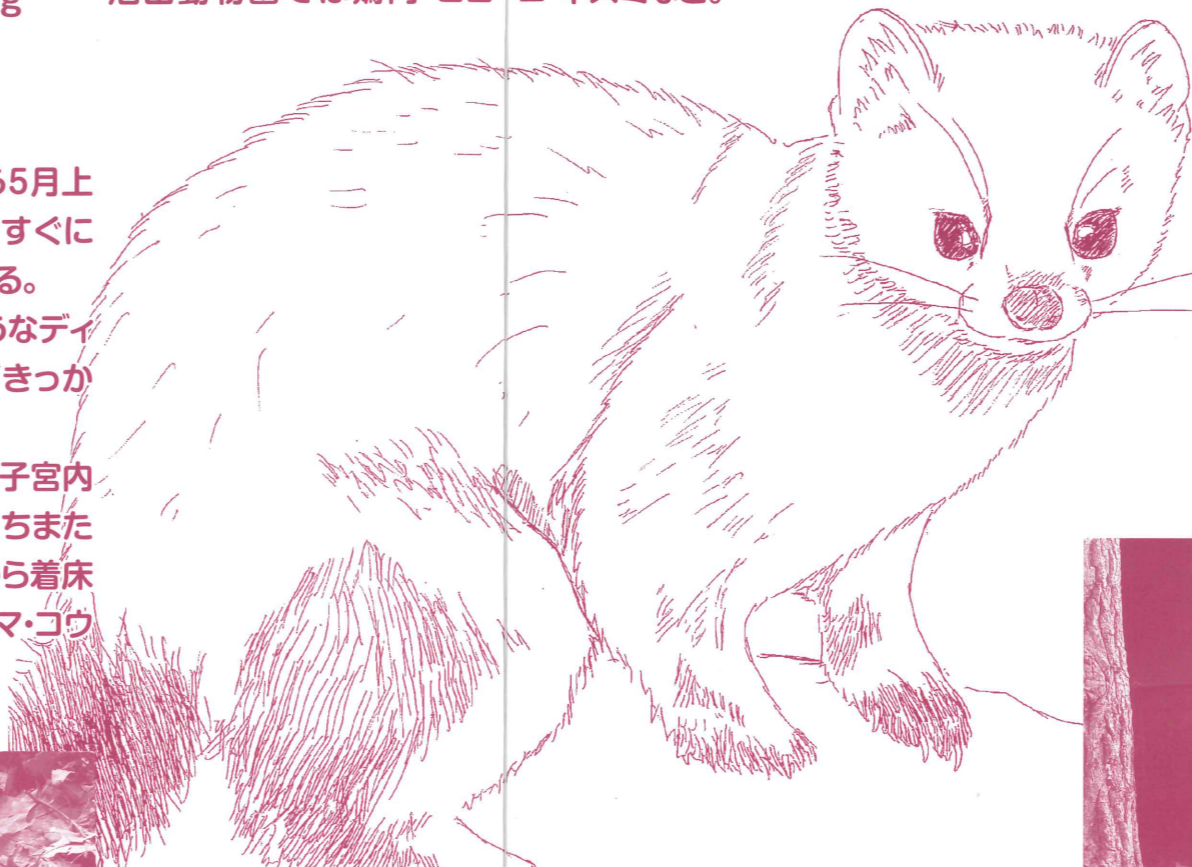
1~2月頃に交尾期のようなディスプレイを行い、それがきっかけで着床する。

※着床遅延:受精後、胚が子宮内を浮遊し、一定期間のちまたは一定の条件が整ってから着床すること。カンガルー・クマ・コウモリなどでもみられる。



食べ物

ネズミ・リス・鳥・カエルなど。自分より大きなエゾユキウサギを捕食することもある。ヤマグワ・ヤマブドウ・コクワなども食べる。旭山動物園では鶏肉・ヒヨコ・ネズミなど。



冬

冬眠はせず、冬も活動する。積雪期はよく雪に潜ります。雪に潜る様子⇒



足

体の大きさの割に手足が大きい。ふかふかの雪の上でも埋もれずに移動することができる。



大きな前足



立ち上がって周囲を見回す

クロテンだけど 黒くない

シベリアなどに生息するクロテンは灰色から黒褐色ですが、亜種であるエゾクロテンは黄褐色で冬は淡い色になります。オスは交尾期になると喉のあたりがオレンジ色になります。



夏毛



冬毛

北海道のイタチの仲間

もともと北海道でみられるイタチの仲間はエゾクロテナ、エゾオコジョ、ラッコ。ほかにはニホンイタチがネズミ駆除目的での放獣、ホンドテンとアメリカミンクが毛皮目的で持ち込まれ、生息しています。旭山動物園ではエゾクロテンとの北海道産動物舎でアメリカミンク、ゆっくりロードのテンを飼育展示しています。

ン、キタイイズミ駆除目的で入れたものが野生比較展示として舎でホンドテン



アメリカミンク



ホンドテン(冬毛)

特集 えぞひぐま館徹底解剖!

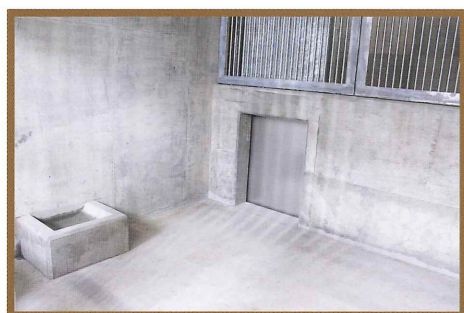
2022年4月29日にオープンした「えぞひぐま館」。北海道を代表する動物であるエゾヒグマを改めて知ってもらいたいという思いが詰まった施設になります。オープンしたばかりのえぞひぐま館はどのようなになっているのか、細かなところまで紹介していきます。

小川



館内からは、川の中の様子を横から見るできるようになっています。また、淡水魚を飼育し、泳ぐ様子など観察できます。

寝室



寝室は全部で3部屋用意しています。今までより広い寝室になりました。

多目的放飼場



館内入口横には小さな多目的放飼場があります。現在のところ何を飼育するかは決まっていますが、予備としてあります。

えぞひぐま館のコンセプト

「厳しい自然で生きるエゾヒグマのたくましさや器用さを引き出したい。自然のすばらしさと同時に怖さも伝えられる施設にし、これからの地球の環境を一緒に考えていきたい」というのがコンセプトです。

また、エゾヒグマとヒトとの関係について、最前線で活動している(公財)知床財団とも協力し、現状や最新の情報などを伝え、エゾヒグマとの共存・共生を考えるきっかけを作ればと考えています。

屋内放飼場



屋内放飼場は、ガラス1枚で仕切られているので、とても迫力あるヒグマの姿を観察することができます。また、背景は今の時間や季節に合わせた知床の映像を流しているの、とても臨場感あふれるものとなります。

壁画



元飼育展示係で絵本作家のあべ弘士さんによる、北海道の動物たちや知床の風景などが立体的に描かれた壁画があります。

壁にたくさんの観察窓



園路に沿って壁が立っていますが、所々に大きな窓があり、ヒグマを観察できるようになっています。出窓部分は、エサを入れられるように工夫されており、エサを食べにくるヒグマを間近で観察できるかも…

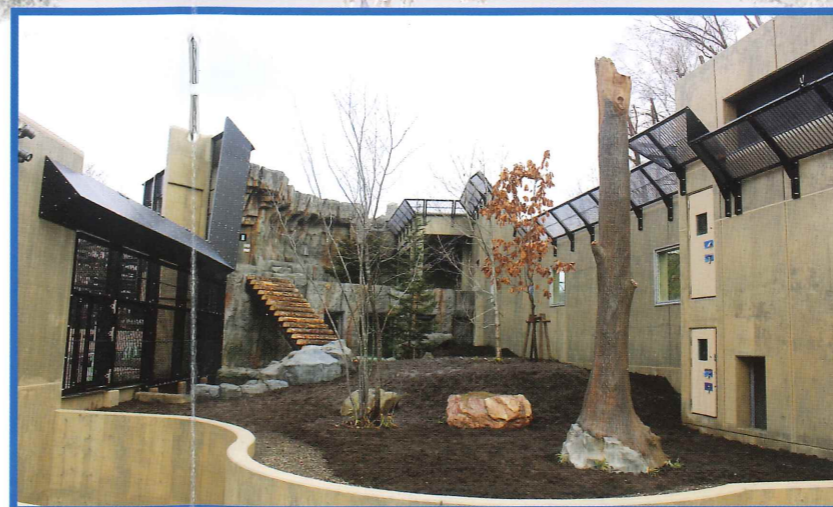
そびえ立つ擬木



放飼場にそびえ立つ擬木。擬木の一番上の部分には、エサを置けるよう工夫しています(写真上)ので、擬木を登っていく姿を観察できるかもしれません。



外放飼場



外の放飼場は、今までの4倍ほどの広さに拡大。地面は土に改良され、エゾヒグマの「とんこ」はどのような行動をするのでしょうか?奥行きがある放飼場ですが、奥の方は柱状節理をイメージした擬岩で作られ、一段あがった場所になります。木も北海道の在来の木が植えられ、季節を感じながらエゾヒグマを観察できるようになっています。

(公財)知床財団作成展示ブース



屋内放飼場の向かいには、(公財)知床財団の協力を得て、ヒグマの現状や対策などについての看板やグッズ、映像などで伝えていくブースとなります。

出口

入口

池



夏の間はここまで水が流れてきます。飛び石もあるので、足下で泳ぐ魚を観察できるかも…

飼育研究レポート

～ホッキョクグマ繁殖への道①～

2021年12月10日、ホッキョクグマのピリカが出産しました！

ピリカにとっては初産となります。3頭生まれた子のうち2頭は死亡してしまいましたが、残る1頭をしっかりと子育てしてくれています。

当園でのホッキョクグマの順調な成育は実に40年ぶりということになります。

当園ではここ15年ほどの間、オスのイワンとメスをペアリングして繁殖を試みてきましたが、良い結果に恵まれませんでした。2020年にイワンが他園へ移動し、入れ替わりでオスのホクトが来園しました。

いよいよ繁殖の期待が高まった所で担当替えがあり、私がホッキョクグマ担当となりました。当園にとって最大の懸案となってしまったホッキョクグマ繁殖を、今度こそ成功させなければならない。プレッシャーもありましたが、私はこれまでシンリンオオカミ・アムールトラ・アムールヒョウ・ユキヒョウなど大型肉食獣の繁殖に多く携わっており、その経験を活かすべく、思い切って挑戦してみることにしました。

2020年11月、ホクトとピリカを初同居させました。ホクトはピリカと同じ空間に入ったうれしさのあまりピリカに駆け寄りました。しかしピリカはそれを「襲われる」と感じて怯えてしまい、ホクトに噛みついてしまいました。

多くの職員にとって、この初同居は好感触とは映らなかったでしょう。しかし私は過去の担当動物のペアリングを思い出していました。アムールトラもユキヒョウも、体の大きなオスよりメスの方が強気で、

エサの取り合いになってもメスが怒るとオスはすぐと退散していました。私の経験上、「オスがメスに一步譲る」という力関係の方が、繁殖がうまくいくことが多かったのです。

ホッキョクグマも、怯えて威嚇するピリカに対して、ホクトはとまどいながらもなんとか打ち解けようと近づく様子が見られました。私はペアリング成功の可能性を感じました。

ホクトはピリカに対し決して無理には近づかず、ゆっくりと距離を詰めていました。ピリカが威嚇したら、その場は引き下がる。でもまた時間をあけてピリカに近づく……

そうするうちに、徐々に二頭の距離は近づきました。2021年2月、発情期を迎えるとピリカも積極的にホクトに近づくようになり、2月から3月にかけて、ついに交尾が確認されました。ホクトの粘り強さが実を結んだのです。

(次号へ続く)



(ほっきょくぐま館担当：大西敏文)

動物園のお医者さんのカルテ

～動物の薬あれこれ～

私たちヒトと同じく、動物たちも治療や予防のために色々な薬をつかいます。といっても旭山動物園には100種類以上の動物がいて、それぞれの動物用の薬などというものはもちろん販売されていません。ではどうするかというと、まずは分類が近い動物は同じような薬が使えます。例えば、牛→キリン(ウシ目)やヒト→チンパンジー(サル目)など似ていることは皆さんもイメージしやすいと思います。



ではカピバラは何の仲間かわかりますか？

それ以外も薬の成分の効果がわかっているならば、ヒト用の薬を使用目的外の動物に使うこととなります。

種類や量には海外の教科書や文献などで調べていますが、なかなかわからない動物も多いので、効果をみながら投薬することも多く、不安もつきません。

さて、薬の種類や量が決まると獣医師としては一段落ですが、飼育スタッフはそこからが腕の見せ所になります。言葉が通じるのならば必要な薬ということもわかってもらえるのですが、動物たちにはそれはかないません。なんとかだまして薬を飲んでもらう必要があります。

今までの経験から、肉食の動物はあまり苦労することなく、お肉や魚に入れるとバクバクと食べてくれます。また、丸呑みしてくれるペンギンやアザラシなども、全く気づかず飲んでくれます。

草食動物は味に敏感なこともあります。普段与えないリンゴや野菜などに入れて食べてもらうか、食べる量自体が多いので粉にしてまぶして与えます。

一番苦労するのは、やはりサルの仲間たちです。こちらの意図を読み取って、薬だけほじくりだしたり、粉のついた部分を捨ててしまったりします。

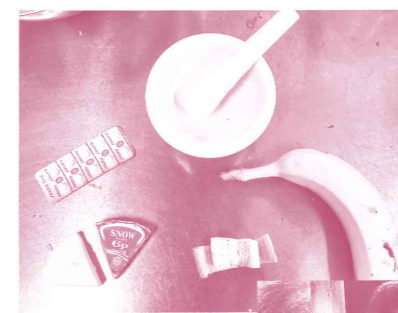
そこで各飼育スタッフの秘密の方法が定番になるのですが、話を聞いてみると面白いことに気づきました。

テナガザルではブドウのたねの部分に錠剤を入れてという食感を気づかなくする方法を使うのですが、同じ方法をワオキツネザルに使うと、溶け出した薬の味に気づいてしまい失敗するそうです。そのため、ふかし芋にまぜて与えて食べてもらっています。いふればテナガザルは食感派、ワオキツネザルは味覚派ということでしょうか。

一方、同じ動物でも個性が違う場合もあります。チンパンジーのメスの「チロ」と「ニナ」には発情抑制のための薬を毎日与えていて、大人のチロは雑に錠剤を入れただけで、たとえ薬に気づいても食べてくれます。しかし、若いニナは粉にして、バナナに丹念に隠してあげないと食べてくれません。一般的なイメージは、若いニナほうが気にしないように思えるのですが、大人のチロの方が大雑把なのは面白いですね。

これからも動物の種類や個性に気をつけて、かれらの健康を守っていければと思います。

(獣医師 中村)



左のチーズが錠剤そのままのチロ用
右のバナナが粉をはさんだニナ用

なんでも食べてくれるチロ
錠剤が落ちても捨てる食べます



主なできごと

- 11月29日 シロテテナガザル「テルテル」
(オス)死亡 20歳 心筋梗塞
12月10日 ホッキョクグマ「ピリカ」3頭出産
(13日までに2頭死亡)

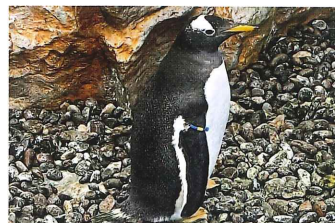


- 26日 チンパンジー「キーボ」(オス)
死亡 53歳 老衰



- 12月30日～1月1日 年末年始休園
1月17日 ユキヒョウ「ジーマ」(メス)搬出
いしかわ動物園へ

- 2月3日 レッサーパンダ「梨梨(リーリー)」
(メス)搬出 羽村市動物公園へ
11日～13日 雪あかりの動物園 開催
18日 ゴマフアザラシ「うるち」「もち丸」
(オス)搬出 岡山市立玉野海洋博物館へ
3月1日 レッサーパンダ「桃桃(タオタオ)」
(メス)搬出 桐生が岡動物園へ
4日 ジェンツーペンギン(メス)搬入
豊橋総合動植物公園より



- 21日 タンチョウ(オス)搬入
釧路市動物園より
シマフクロウ(オス)搬出
釧路市動物園へ

雪あかりの動物園終了!

2月11日から13日までの3日間、雪あかりの動物園を開催しました。2013年から実施し、今年は10回目の節目の年となりました。残念ながら、新型コロナウイルスの影響で、予定していたイベント等はすべて中止せざるを得ませんでした。会期中は天候に恵まれ、キリッとした寒さの中、たくさんの来園者が訪れた3日間となりました。今年は冷え込む日が予想以上に少なく、思うようにアイスクャンドルの作成が進まず苦労しました。しずく型のアイスクャンドルは、冬の夜の動物たちと並ぶこの催しのメインです。なんとか690個を作成し、今年も無事、園内を優しい光で照らすことができました。来年こそは、皆さんに楽しんでいただけるようなイベントをたくさん実施できるといいなと思っています。



編集後記

4月8日から、動物園は夏期開園に向けた準備期間に入ります。えぞひぐま館のオープンという大きなイベントもありますが、動物たちの魅力を伝えるために、飼育員一人一人が温めてきたアイデアを形にしていきますので、楽しみにしててくださいね。(鎌上)

最新情報はここでチェック!!



公式HP



Facebook



Twitter



Instagram

モユク・カムイ No.112 令和4年4月29日

- 発行所/旭川市旭山動物園
〒078-8205 旭川市東旭川町倉沼 ☎0166-36-1104
- 発行人/坂東 元 ●表紙絵/中田 真一さん
- 編集/中村 亮平・中野 奈央也・佐賀 真一
中田 真一・佐藤 和加子・大西 敏文・鎌上 壘
- 印刷/(株)須田製版: 〒070-8045 旭川市忠和5条8丁目3-1 ☎0166-62-2266

飼育動物数

令和4年4月1日現在

- 哺乳類 43種・288点
- 鳥類 51種・305点
- は虫類 9種・22点
- 両生類 5種・16点
- 合計 108種・631点